

古賀発！たたいま
県政刷新中！

第7号
2012年6月発行
～田辺かずき事務所～
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面も】
◎予算特別委の詳細
買物支援、中小企業
◎市内全域で対話集会

2年目スタート！対話を継続中！



現職として「声」を聞かせていただく対話集会を継続
＝日吉台区で5月10日

田辺一城の 発信箱

□「公約」を 意識して

福岡県議として2年目に入りました。昨年

4月30日の就任後、初めての経験ばかりでしたが、古賀の皆さんとの約束として一番に掲げた「福祉の充実」を県政に反映させるため、県議会で小川洋知事への政策提案を繰り返し、高齢者福祉の「宅老所支援

費」の新設や、子どもの防災教育の前進などを実現することができました。

□現場と議会をつなぐ

新たな政策を実現できたのは、古賀の皆さんのおかげだと思っています。対話集会をはじめ地域の中で聞かせていただいた課題を踏まえ、政策の現状を調べ、県議会で問題

を提起してきました。政治は住民の皆さんの「声」を反映させる「道具」だからこそ、これからも「つなぎ役」としての役割を担えるよう、地域を回ります。

□古賀の良さを伝える

もうひとつ意識したのは、古賀の誇るべき取り組みを県政に反映させること。「古賀市発福岡県へ」という公約を意識してきました。この県政報告でも紹介しています。



サーベイメータで放射線量を計測

ですが、2～3月の予算議会では、花鶴3丁目福祉会の「お出かけサポート」や、古賀東小学校区の住民避難訓練の事例を挙げながら、県の姿勢を質しました。

□2012年度の決意

昨年度は所属党派の議員で唯一、全ての議会で一般質問に立ちました。公の場で直接、知事と県政課題を議論できる機会なので、今年度も積極的に質問します。引き続き、「強い経済」を意識した県内中小企業、農業の振興にも取り組み、古賀市長や市議の皆さんとの意見・情報交換も続けてまいります。よろしくお願

「被災地報告」

がれき処理の現場を歩く

5月下旬、宮城県石巻市と南三陸町を訪ねました。被災地入りは昨年5月と11月に続き3回目。主な目的は、災害廃棄物（がれき）の処理の現状調査。北九州市が受け入れを検討するなど、福岡県内の自治体に広域処理への動きがあるためです。

放射能に対する懸念の声もあるため、今回は持ち運び可能な放射能測定機器「サーベイメータ」を現地に持ち込み、空間線量を測定しました。

環境省資料によると、石巻ブロックの災害廃棄物の推計量は宮城県全体の約半分。今回、石巻市内の中間処理施設に新たに完成した「仮設焼却炉」や「仮置き場」を視察しました。

また、南三陸町の「南三陸漁業生産組合」では、漁業の復旧・復興の状況を教えていただきました。力を合わせて取り組み、ワカメやコンブなどの養殖を再開した努力に勇気づけられました。昨年末に福岡県の中小企業さんが贈ったカキ養殖用のイカダもしっかりと役割を果たしています。

政治活動を連日発信中！

ブログ(活動日記) <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
公式ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>



動き始めた仮設の焼却炉

裏面へつづきます

古賀の好事例、県政に反映を!

買物支援

田辺 花鶴3丁目の活動を提示 県「全庁的な体制で取り組む」

2012年度当初予算を審議する県議会2月定例会(2月22日)3月23日)では、一般質問(第6号に詳報)だけでなく、予算特別委員会のメンバーとして計3回、質問に立ちました。

高齢者の皆さんから「買い物に行けない」という声をお聞きしています。質疑では、花鶴丘3丁目福祉会が独自に「お出かけサポート」を実施し、県内各地

から視察が相次いでいる状況を紹介します。高齢者支援の観点を含め総合的に政策を展開するように要請。県は「全庁的な体制で取り組む」としました。

そのうえで、「総合的な福祉政策が問われている」との認識で一致。住民やNPOが総合的に活動展開できる環境を整備しなければならず、県政で引き続き取り組みます。

中小企業支援

中小企業のアジア展開支援は福岡県の経済成長にとつて極めて重要であり、進出企業が急増しているASEAN後発国のカンボジアやミャンマーといった国々の情報収集体制を構築する必要があります。県は「(新)現地情報に詳しいアドバイザーを設置する」と約束しました。

みなさんとともに一古賀での活動

クショップも。若い世代で古賀の魅力を引き出そうという動きもあります。今年も筵内区の軽スポーツレクリエーション大会にお招きいただきました。青柳少年剣道クラブは40周年の記念の年です。薦野区では、子どもたちから親しんできたホタルの光を楽しみました。各小中学校の運動会へも。小野校区の通学路をはじめ各地の道路・河川問題の現地調査もしています。このほか、防災・地域の安全、商工業、農業、文化活動をはじめ多くの団体の皆さんの活動へも。今後よろしくお願い致します。



朝のJR古賀駅で挨拶

全8小学校区で一対話集会を連続開催!

5月7日(31日、県政報告・対話集会を古賀市内の8小学校区で開きました。新原、花鶴丘1、日吉台、高田、薬王寺、舞の里4、庄南、花見東2の各行政区で意見交換させていただきました。このほかに地域活動の集まりやご自宅などにもお招きいただきました。現職県議となりました。今後継続してまいります。

【後援会総会を開催】

平素より田辺かずぎに対し格別のご支援をいただき深く御礼申し上げます。後援会では、下記の日程で総会を開催いたします。田辺から公約の進捗状況をはじめとする活動報告を行い、後援会活動のこれらについて意見交換ができたら幸いです。ご多忙中かと存じますが、お誘い合わせの上お気軽にご出席いただければ幸いです。

日時 : 2012年7月1日(日) 10時から
会場 : リーパスプラザ(古賀市中央公民館) 2階 大会議室
駐車場 : お車でお越しの際は、古賀市立球技場を駐車場としてご利用ください
※お問い合わせは、田辺かずぎ後援会事務所 (092-692-8510) までお願いします。



県議会・予算特別委員会で県の担当課と一問一答の質疑=3月13日

田辺 古賀東校区の避難訓練を紹介 県「実動訓練を積極的に実施する」

東日本大震災では「釜石の奇跡」のように子どもたちが主体的に率先して避難することで命を守ったケースがありました。また、昨年11月には古賀東小学校区では住民全体が参加した大防災訓練を実施しています。これを踏まえ、住民参加型の避難訓練を県内で広く実施すべきと主張。県消防防災課は「実際に避難を体験することが効果的」と積極的な姿勢を示しました。



ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
公式HP <http://www.tanabe-kazuki.jp/>

<田辺かずき プロフィール>

1980年5月16日生まれ
1987年 暁の星幼稚園 卒園
1993年 花鶴小学校 卒業
1996年 古賀中学校 卒業
1999年 福岡県立福岡高校 卒業
2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社/福岡支局 配属
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
2006年 大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事(当時)、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む
2011年 福岡県議会議員 初当選
毎日新聞社 退社



【所属】厚生労働環境委員会
国際交流推進対策調査特別委員会
民主党福岡県第4区総支部 幹事長
民主党福岡県連「団体交流委員会」副委員長
同「青年・国民運動委員会」事務局次長
同「組織委員会」委員
【家族】会社員の妻、5歳の長男、1歳の長女
【最近のおすすめ】 こどもの日の朝、自宅の庭にサクランボがなっているのを妻が発見し、子どもたちがはしゃいで収穫。深夜番組の「アメーバーク」(テレビ朝日)に福岡出身の博多華丸・大吉が特集されて大満足でした。インターネットの情報発信としてブログやTwitterに加え、Facebookも始めました。ご覧いただくと幸いです。